

10月に「つどい」

ユニセフ協県支部5周年記念

評議
会
決
定
理
事
会

日本ユニセフ協会の
支部理事会・評議員会
は十八日、福島市のコ
ラッセふくしまで開か
れた。支部設立五周年
を記念し「ユニセフの
つどい in ふくしま」
を十月二十四日、市内
の県文化センターで開
催することを決めた。
会長の花田勲福島民
報社会長があいさつし
た。十二月に市内の県
立図書館で「子どもと
エイズ世界キャンペーン」
写真&パネル展を
開くことを申し合わせ
た。
根本章子専務理事
（県生活協同組合連合
会理事）の退任などに
伴う役員の変更では、
専務理事に工藤信行氏
（ポイスカウト県連

盟理事長）、常務理事
に羽田則男氏（連合福
島会長）、菅田俊雄氏
（県生活協同組合連合
会事務局）を選んだ。
理事会・評議員会の
席上、昨年度の募金活
動状況を報告した。一
般・緊急合わせて八十
七件、総額六百七十六
万八千八百三十七円が
寄せられた。
業団が、三月に福島市
で開かれた「八嶋博人
・八嶋恵利奈チャリテ
ィーコンサート」の収
益金二十六万七千四百
七十円を子どもの幸せ
と支部活動に役立てる
ために贈ったことも報
告した。さらに、ミヤ
ンマーのサイクロン、
中国・四川大地震の義
援金は十七日現在、百
八十六万六千七百七十

事業計画を決めた理事
会・評議員会



四円が寄せられている
ことも報告した。この
社と福島民報厚生文化
事業団が県民からの義
援金を寄託した。

福島民友新聞 平成 20 年 6 月 20 日

ユニセフ啓発へ抱負

県支部の新旧専務

日本ユニセフ協会県支部
の工藤信行専務、菅田俊雄
常務・事務局長、根本章子
前専務は十九日、就任・退
任あいさつのため福島民友
新聞社を訪れた。

新任の工藤専務と常務に
就いた菅田事務局長は「本
県はユニセフに対する募金
額は多いが、会員数が伸び



あいさつする（左から）工藤専務、
根本前専務、菅田常務・事務局長

悩んでいる。会員三百人達
成を目指す、活動基盤を強
化したい。学校や各団体に
働き掛けユニセフの活動へ
の理解を深めたい」と抱負
を述べた。

根本前専務は「企業や個
人の協力を得て、二〇〇三
（平成十五）年に県支部を
発足することができた。活
動の輪も広がっており、う
れしく思う」と振り返った。